

自彊前進

題字 西村直子

NO. 22 令和5年9月19日(火)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

演劇発表会行われる

連日の猛暑、いまだ感染力の衰えない新型コロナウイルス感染症等、心配な要素はたくさんありました。そんな中、6月の演劇鑑賞教室の頃からほぼ3か月間取り組んできた、附中で最も伝統的な行事である演劇発表会が終わりました。どの学級、学年も素敵な姿を見せてくれ、ありがとうございました！

演劇発表会の目的のキーワードは、『自分再発見』『協働』『創造』でした。それぞれの立場から、演劇活動の過程、当日における『個人としての成果と課題』、『集団としての成果と課題』をしっかりと振り返りましょう。

「次は音楽のつどいだ！」と思っている生徒もいるかもしれません。行事と行事をつなぐことは大切ですが、行事は日常の中に組み込まれています。行事でできたこと・できなかったことを日常でできるようにしていくことを、当校では大切にしています。

「行事」は目標も立てやすく、成果や課題も見えやすいです。しかしながら、「日常」においては、毎日の生活態度や係活動などが惰性になりやすく、成果や課題を見い出すことは容易ではありません。だからこそ、「行事」の力を借りて、「日常」を見直すのです。個人として、集団としての成果や課題を明らかにし、共に成長していきましょう！

～当日の様子～



1 学年演劇

『かがみの孤城』



2 学年演劇

『君はきっとまだ知らない』



3 年1組演劇

『明日の僕に風が吹く』



3 年2組演劇

『The MANZAI』



3 年3組演劇

『走れメロス』



現3年生が昨年作成した駅の看板で、私はこれが大好きです。1年時の演劇『西の魔女が死んだ』から2年間の学年演劇を経て、いよいよ学級演劇に向かう決意を表したものです。3年生の行事には、常に『最後の～』という文字が付きます。残り半年、悔いのない学校生活にしましょう！